

令和7年度都立豊島高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
英語	・単元ごとの区切り(学習期間)・目標を明確にし、4技能5領域にわたる言語活動の充実を図る。	視覚・聴覚による情報収集や発話・筆記・タイピングによる情報発信が、身体のあるあらゆる感覚器官を駆使したうえで、躊躇なく即座に行えるような言語環境を教室内で構築し、言語活動に励ませる。	定期的実施するパフォーマンステストを節目として、単元ごとのテーマに沿って、自己の生き方を表現する活動を充実させる。
国語	・身近な文章を正しく読む。 ・自分の考えを文章にまとめる。 ・話し方の指導の充実を行う。	・日常使われる言葉や漢字の知識を身に付ける。 ・教科書やプリントなどを正しく音読し、重要な部分がどこであるか考える。 ・クラスメイトとの対話を通して教材理解を深める。	・ビブリオバトルへの参加に向けた校内大会を実施する。 ・人前で話す際に適した文章の作成方法を学ぶ。 ・人に聞かせる、惹きつける話し方を実践形式で学ぶ。
数学	・数学の面白さを気付かせる。 ・数学的に考える資質・能力を育成する。	生徒が興味・関心を持つ身近な数学の題材を導入し、生徒にとって理解しやすく、かつ学ぶ意欲を喚起させる。	数学における基本的な原理・法則を理解させるとともに、事象を数学化し、数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。
理科	・現象の観察・実験を充実させる。 ・日常生活との関りを意識させる。	・観察する時間、考える時間を確保する。 ・端末を活用し調べる時間や、グループ協議する時間を確保する。	・長期休業中での観察・実験を実施する。 ・調べ学習と、発表を実施する。
保体	・身体を動かすことの楽しさを味わうことができる。 ・健康のための知識・技能を身に付ける。	各単元を通して基礎的・基本的な学力・体力・技能を身に付け、自身の健康を気遣うとともに、他者を理解していく。	各単元を通して高等学校レベルの学力・体力・技能を身に付け、自身の健康を改善しようとするとともに、他者と意思疎通を図りながら良好な関係を築いていく。
地歴・公民	・論理的に史資料を読みとく。 ・現代とのつながりを意識する。	・論理的に文章を読んだり、絵画資料を見るポイントを理解する。 ・身近な事例などをふまえながら、調べ学習等を取り入れる。	史資料を根拠に、自分の言葉で歴史的事象を表現する。